

03. 卷末資料

CHAPTER.03
KANMATSU SHIRYOU



作成の流れ

2023 (令和5) 年11月 「第1回新横浜地区のまちづくりワークショップ」開催
2024 (令和6) 年1月 「第2回新横浜地区のまちづくりワークショップ」開催
11月 「第3回新横浜地区のまちづくりワークショップ」開催
2025 (令和7) 年2月 「新横浜駅北部地区まちづくりニュース 第1号」発行

ワークショップやヒアリング等を踏まえ作成

9月 「新横浜駅北部地区まちづくりニュース 第2号」発行
9～10月 本方針の構成等を町内会・自治会に説明・意見交換

方針(骨子案)の作成

2026 (令和8) 年1月 「新横浜駅北部地区まちづくりニュース」第3号発行
2月 本方針(骨子案)の町内会・自治会意見募集

意見への対応、方針(素案)の作成

6月 「新横浜駅北部地区まちづくりニュース」第4号発行
6～7月 本方針(素案)の市民意見募集

意見への対応

10月 「新横浜駅北部地区等まちづくり方針」策定
10月 「新横浜駅北部地区まちづくりニュース」第5号発行

市民意見募集の結果の概要

実施期間	令和8年6月30日(火)～7月30日(木)
意見件数	46通・126件(1通で複数のご意見をいただきました)

いただいた意見の内訳



主なご意見の概要

- ・オフィス街として発展しているが、さらに行きたいまち、暮らし続けたいまちにしてほしい。
- ・人口が急激に増えている。品ぞろえ豊かな大型スーパーや生活利便施設を誘致してほしい。
- ・1丁目から新横浜駅への歩行者動線を改善してほしい。路上が暗く、対策してほしい。
- ・緑や花が多く素敵なまち。日ごろの町内会自治会活動ありがとうございます。
- ・道が広く安心して歩ける、にぎわいがあるなど新横浜の魅力をさらに生かしてほしい。
- ・映画館等を誘致するなど、駅前一等地の図書館に収益化できる施設を入れた方がよい。
- ・公園以外に子どもが過ごせる場所を増やしてほしい。

ご意見への対応状況

<反映> ご意見の趣旨を踏まえ方針に反映したもの	33件 26.2%
<包含・賛同> ご意見の趣旨が既に素案に含まれるもの 素案に賛同いただいたもの	34件 27.0%
<参考> 今後の参考とさせていただくもの	48件 38.1%
<その他> 本方針に関連しない意見・要望等	11件 8.7%

方針に反映した主な内容

- スーパーなど商業施設の誘致
方針01-2「住み続けたいまちを目指して～」など反映しました
- 受動喫煙の防止
方針01-2「受動喫煙の防止など～」など反映しました
- 子育て支援等
方針01-4「子どもたちが遊び、学ぶ居場所づくり～」など反映しました
- 大規模イベント時の防災
方針01-6「大規模イベント時の対策等～」など反映しました

新横浜駅北部地区まちづくりニュース 第1号

新横浜駅北部地区 まちづくりニュース

令和 7 年 2 月発行
第 1 号

横浜市都市整備局
都心再生課

まちづくりニュースの発行について

新横浜駅北部地区は、**昭和 57 年（昭和 58 年）**の土地区画整理事業【※】完了から **35 年**の節目を迎えました。

これまでの間、複数の鉄道の開業や、環状 2 号線等の道路、駅前公園などのインフラが整備されるとともに、横浜アーク、横浜国際総合競技場などの大規模商業施設が立地し、オフィス、ホテル、店舗等が集積しています。また、地域の皆さまも多様で活発な活動により、活気ある街になっています。

一方で、将来的な人口減少や高齢化社会、コロナ禍に伴う働き方改革など、取り巻く社会情勢が大きく変化しているなか、ビルの建替え等の時期を迎え、街も変化してきています。

そのため、新横浜駅北部地区のこれらについて、皆さまと一緒に今後のまちづくりを考えていただく、「まちづくりニュース」を発刊していきます。

【※】土地区画整理事業とは、道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用増進を図る事業。

◆新横浜駅北部地区（新横浜 1・2・3 丁目）

まちづくりワークショップの開催概要

横浜市、新横浜町内会、新横浜自治会、アデニウム新横浜自治会の方々にご協力をお願いし、新横浜駅北部地区のこれらのまちづくりの方向性考えるワークショップを開催しました。

開催概要

第 1 回	開催日	令和 5 年 11 月 8 日（水）
	参加者数	3 5 名
	テーマ	・地区の強み・弱みについて ・これからのまちづくりについて
第 2 回	開催日	令和 6 年 1 月 24 日（水）
	参加者数	3 3 名
	テーマ	・取組の推進について
第 3 回	開催日	令和 6 年 11 月 24 日（水）
	参加者数	1 9 名
	テーマ	・ワークショップのまとめについて ・これからのまちづくりについて

今後の予定

「新横浜駅北部地区まちづくり方針の策定に向けて」
今回のワークショップに参加されたみなさまへ「新横浜駅北部地区をより魅力的な街としたい」という思いを公（共有）させていただくとともに、本市もより活カあるまちづくりを進進していくため、このワークショップのとりまねをもつて、新横浜駅北部地区のまちづくりの方針の策定を進めたいです。
所定に向けては、引き続き、町内会・自治会の皆様を中心に対話を重ね、とりまとめていく予定です。

地域における賑わいや憩いの創出に向けて
ワークショップではたくさんのアイデアが出されました。実際に取り組んでいきたい賑わいや憩いの創出の具体的な取組については、勉強会から始めるなど、地域が主体となって進める活動を本市も支援していきます。

令和6年度 街づくり協議指針の一部改正について（意見公募）
新横浜市内で建築士等と市が行っている協議「新横浜駅北部地区街づくり協議指針」について一部改正します。
＜改正概要＞ 指針の記事が曖昧でわかりにくい箇所を明確化し、賑わいや憩い形成への配慮協議等を追加。
＜意見募集＞ 令和7年2月28日（木）～3月29日（金）
詳しくは横浜市HP 下記URL又はホームページ上から検索▶ [Q 街づくり協議 意見](#) [検索](#)
<http://www.city.yokohama.lg.jp/asset/mizukakirika/tobiki/pamk/04cabc/R04cabc04btrrh>

ワークショップにご協力いただいた皆様へ
新横浜町内会、新横浜自治会、アデムコ新横浜自治会の各会長をはじめ、皆様にまちづくりワークショップへご参加いただき、活発な意見交換を行うことができました。ご協力ありがとうございました。



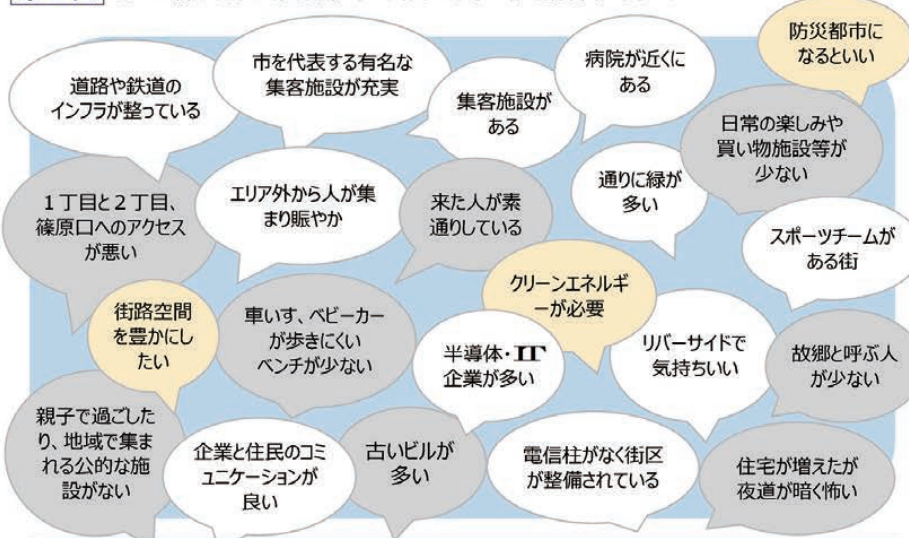
令和6年11月20日撮影 3回ワークショップ参加の皆さま

最後に
ワークショップでは、さまざまな視点から具体的なアイデアや意見をいただき、参加者の方々への街への愛着や、将来の新横浜について深く考えられていることをあらためて感謝しました。
今後、随時、また様々なニュースを発行する予定です。引き続きご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先： 横浜市都市整備部都市再生課（新横浜担当）
TEL：045-673-3636 FAX：045-64-3553 MAIL：t-shinagawa@cityofyokohama.jp

まちづくりワークショップのまとめ(概要)

第1回 地区の強みと弱みを出し合い、これからのまちづくりを話し合いました。



強みを活かし、弱みを解消する

【強み】

- ・良好な交通インフラ
- ・都市機能の充実
- ・企業の集積

- ・多くの来街者
- ・良好な都市環境
- ・活性化要素の存在

【弱み】

- ・回遊性、滞留性が乏しい
- ・人が集まる魅力的な機能が不足
- ・地区内の円滑な移動が困難

第2回 回遊性・滞留性を高めるアイデアを出し合いました。一部をご紹介します。



まちづくりの視点

- ・地区内の回遊性・滞留性を高める魅力ある都市環境の創出
- ・場所ごとの特性を活かし、利用者に応じた賑わい・潤い

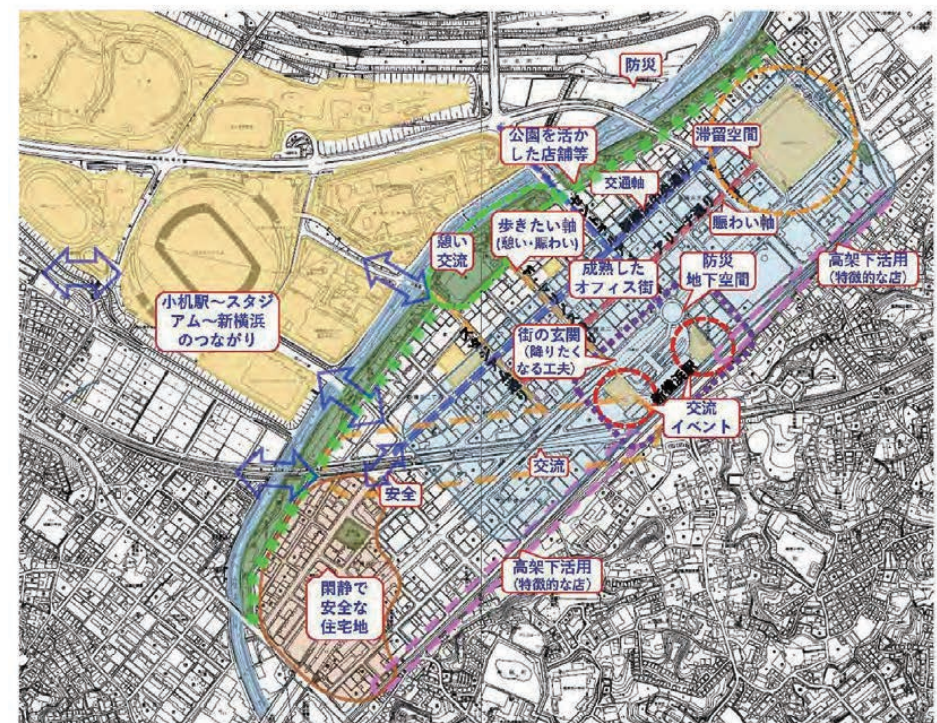
- ・集積する企業の特徴を活かしたDX等の導入

まちづくりニュース第1号では、2023（令和5）年から2024（令和6）年にかけて開催したまちづくりワークショップのまとめをご紹介します。

新横浜の強みや弱み、これから伸ばしていきたいこと、まちづくりの
キャッチコピー等を意見交換しました。

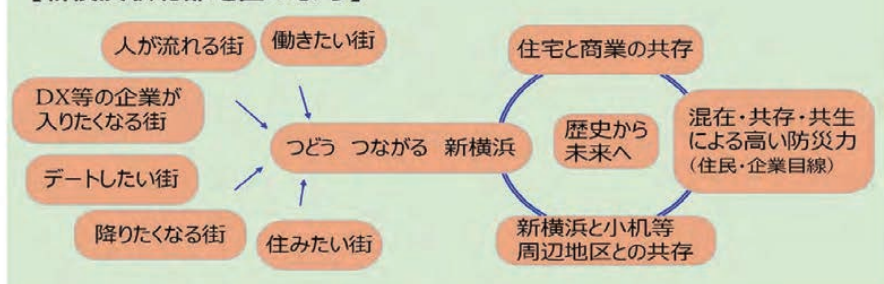
第3回 第1回・第2回ワークショップで「場所ごとの特性を活かす」視点が多く出されたことから、具体的なゾーニングを考えました。また、まちの未来を表すキャッチコピー等を話し合い、ワークショップのまとめを行いました。

▶まとめたゾーニング ※当日、3つのグループで検討した結果を集約しました。



▶キャッチコピーの模式図 ※当日、3つのグループで検討した結果を集約しました。

【新横浜駅北部地区のまち】



新横浜駅北部地区まちづくりニュース 第2～5号

新横浜駅北部地区 まちづくりニュース 令和7年9月発行 第2号 横浜市都市整備局 都市再生課

新横浜駅北部地区のまちづくり方針の策定にむけて

始動しました！

「つどう つながる 新横浜」をテーマに、魅力と活気を将来へつなげるためのまちづくり方針の作成を進めています。

つどう つながる 新横浜

表紙のイメージ

これまでのまちづくりワークショップなどでお聞きした「新横浜の強み・弱み」や「これからの新横浜のまちづくりへの思いや願い」などを参考にまとめていきます。

今後のスケジュール（予定）

令和5・6年度 まちづくりワークショップ → 今回 構成等説明 町内会自治会 → 令和8年1月頃 <方針の策定> 内容の確定 意見募集①予定 → 令和8年春頃 確定案確認 意見募集②予定 → 令和8年夏頃 方針の策定

まちづくりニュースは随時、発行しています。これまでのまちづくりニュースはこちら →

お問い合わせ先：横浜市都市整備局都市再生課（新横浜担当）
TEL：045-671-3858 FAX：045-664-3551 MAIL：tb-shinyoko@city.yokohama.lg.jp

新横浜駅北部地区 まちづくりニュース 令和8年1月発行 第3号 横浜市都市整備局 都市再生課

新横浜駅北部地区のまちづくり方針の策定にむけて

横浜市で「つどう つながる 新横浜」をテーマに、魅力と活気を将来へつなげるためのまちづくり方針の原案をまとめました。

まちづくりワークショップなどでお聞きした「新横浜の強み・弱み」や「新横浜への思いや願い」などを参考にまとめています。

この案について、町内会・自治会のみならず、意見募集を行います。

1/26 から 意見募集開始します

方針（原案）／意見募集について

こちらのQRコードを読み取って 意見募集サイトにアクセスし、ご覧ください

意見募集の期間 令和8年1月26日（月）～2月25日（水）

新横浜の歴史や、町内会・自治会の活動等も盛り込んでいます。ぜひご覧ください。

※この意見募集は、横浜市から委託しているランドブレイン株式会社が運営しています。

今後のスケジュール（予定）

令和5・6年度 まちづくりワークショップ → 令和7年9月 構成等説明 町内会自治会 → 今回 <方針の策定> 町内会自治会 意見募集 → 令和8年6月頃 <方針の策定> 市民意見募集 予定 → 令和8年9月頃 方針の策定

まちづくりニュースは随時、発行しています → Q 新横浜 まちづくりニュース

お問い合わせ先：横浜市都市整備局都市再生課（新横浜担当）
TEL：045-671-3858 FAX：045-664-3551 MAIL：tb-shinyoko@city.yokohama.lg.jp

新横浜駅北部地区 まちづくりニュース 令和8年6月発行 第4号 横浜市都市整備局 新横浜駅北部地区まちづくり推進課

新横浜駅北部地区のまちづくり方針の策定にむけて

新横浜駅北部地区のまちづくり方針について、町内会自治会の皆様を対象にした意見募集にご協力いただきありがとうございます。

意見募集の概要等については、裏面をご覧ください。

このたび、これまでにお聞きした新横浜への思いや意見を踏まえて作成した案をまとめましたので、市民のみならず意見募集を行います。

市民意見募集を行います

意見募集の概要 こちらのQRコードからアクセスし、ご覧ください
<https://www.city.yokohama.lg.jp/>

意見募集の期間 令和8年6月30日（火）～7月30日（木）

こども向けの意見募集ページもつくりました

新横浜（シンヨコ）に住んで、あそんで、学んでいるみんなの「シンヨコがこんな街になったらいいな」「シンヨコのここがいいところだよ」などいろんな話を教えてください。

こども向け意見募集も、同じ意見募集サイトにアクセスしてください。

今後のスケジュール（予定）

令和5・6年度 まちづくりワークショップ → 令和7年9月 構成等説明 町内会自治会 → 令和8年2月 <方針の策定> 町内会自治会 意見募集 → 今回 <方針の策定> 市民意見募集 予定 → 令和8年秋頃 方針の策定

まちづくりニュースは随時、発行しています → Q 新横浜 まちづくりニュース

お問い合わせ先：横浜市都市整備局新横浜駅北部地区まちづくり推進課（4/1から担当が変更されました）
TEL：045-671-3858 FAX：045-664-3551 MAIL：tb-shinyoko@city.yokohama.lg.jp

新横浜駅北部地区 まちづくりニュース 令和8年10月発行 第5号 横浜市都市整備局 新横浜駅北部地区まちづくり推進課

新横浜駅北部地区まちづくり方針 策定しました

新横浜駅北部地区のまちづくり方針について、市民の皆様を対象にした意見募集にご協力いただきありがとうございます。

意見募集の概要等については、裏面をご覧ください。

方針 確定版

確定した方針は、QRコードからアクセスしご覧ください。概要版もまとめたので、あわせてご覧ください。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/>

概要版（一部）

これからのまちづくり

皆様から4年間にわたり、たくさんの声をお聞きし、本方針をとりまとめました。未来に向かって、まちづくりに改めて取り組んでいくスタートとなりますので、地域・企業の皆様とともに、学生や専門家等の力も生かしながら、新横浜の将来像の実現に向けて、引き続きよろしくお願いいたします。

<参考> 方針の策定までの流れ

令和5・6年度 まちづくりワークショップ → 令和7年9月 構成等説明 町内会自治会 → 令和8年2月 <方針の策定> 町内会自治会 意見募集 → 令和8年6・7月 <方針の策定> 市民意見募集 予定 → 今回 方針の策定

まちづくりニュースは随時、発行しています → Q 新横浜 まちづくりニュース

お問い合わせ先：横浜市都市整備局新横浜駅北部地区まちづくり推進課（4/1から担当が変更されました）
TEL：045-671-3858 FAX：045-664-3551 MAIL：tb-shinyoko@city.yokohama.lg.jp

まちづくりニュース第4号では、
2026（令和8）年にお聞きした、町内会・自治会の皆様のご意見をご紹介します。

町内会自治会意見募集結果

実施期間	令和8年1月26日（月）～2月25日（水）
意見件数	27通・78件（1通で複数のご意見をいただきました）

いただいた意見の概要

まちブランドやテーマ等に関するご意見 11
建物の用途に関するご意見 39
景観や美化に関するご意見 6
駅とのアクセス改善等に関するご意見 14
駐車場や駐輪場の拡充に関するご意見 4
小机や篠原口とのつながりに関するご意見 3
マナー啓発等に関するご意見 1

まちブランドやテーマ

1 5 2 3 1

- 福祉や暮らしのためのまちづくり
- 広く認知され目的地となる都市ブランド
- 陸の玄関口としての強化
- 企業を生かしたまちづくり

建物の用途

1 1 3 12 6 4 6 6

- 日用品店舗・大型スーパー等が必要
- 映画館や美術館、観光施設等がほしい
- 子育て支援施設が必要
- 図書館の蔵書、複合施設化の提案
- 治安維持のための建物規制
- マルシェがあるといい
- バランスある用途の配置
- 公衆用トイレの拡充

このほか、「新横浜駅と1丁目のアクセス改善」や「小机地区等も含めた一体的なエリアとして役割分担しながら、回遊性によりつながる持続的なまちづくりが必要」、「花や緑がたくさんある新横浜の魅力」などのご意見がありました。

また、「地域のハマロードサポーター活動によるまちの美化活動へのお礼」や「この方針で新横浜をより知ることができた」などの声もいただきました。

まちづくり方針と暮らし

この方針は、新横浜のいまを確認し、これからの方向性を共有することを目的に、策定を進めています。具体的な方策はこれから、のことも多いですが、「働く」「集う」だけでなく「住まう」や「憩う」も大切にとりまとめています。方針の全ての項目が、豊かな暮らしにつながっていければと考えています。

横浜市都市計画マスタープラン (全市プラン)

2025 (令和7) 年改定

都市計画法を根拠とし、市の基本的な方向性を示す。市民や企業等と意思を共有し、協働してまちづくりを進めるための基本方針

新横浜都心は、横浜都心と「互いに機能補完する、魅力と活気あふれる都心の形成」を図るエリアとして位置付け

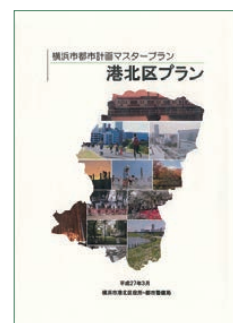


港北区プラン

2015 (平成27) 年改定

全市プランを前提に各分野別計画と整合を図ったもの

まちづくりにより目指す、まちの在り方を具体化し、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための基本方針



横浜市中期計画 2026 ～ 2029

2026 (令和8) 年策定

2040年頃の都市像「明日をひらく都市」の実現に向けて、現状の課題解決に取り組みながら、「市民生活の安心・安全」と「横浜の持続的な成長・発展」を目指し、計画期間の4年間に重点的に進める戦略や取組を中心にとりまとめた計画

都市計画区域の整備、 開発及び保全の方針

2025 (令和7) 年改定

都市づくりの基本理念「～未来をひらく 次世代に誇れる都市づくり～」の実現に向けた、都市構造の在り方、区域区分の方針、主要な都市計画の決定の方針等を規定

都市再開発の方針

2025 (令和7) 年改定

再開発(市街地の再整備を含む)の適正な誘導と計画的な推進のため都市再開発の方針等を策定。新横浜は、特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき相当規模の地区「2号再開発促進地区」として位置付け

新横浜都心 整備基本構想

1999 (平成11) 年策定

臨海部の横浜都心とともに「ツインコア」を形成する都心としての都市構造づくりを実現するための基本方針をとりまとめた計画
新横浜都心を形成する4つの地区(新横浜地区・城郷地区・新羽地区・羽沢地区)ごとに将来像と都市基盤整備、環境整備の方向性を提示

横浜市景観ビジョン

2019 (平成31) 年策定

横浜市のこれからの景観づくりにおいて目指すべき方向性を、歴史、文化、水・緑環境、人々の活動などを含めた総合的かつ長期的な視野に立って示す景観づくりの指針として策定

横浜都市交通計画

2018 (平成30) 年改定

交通政策全般にわたり、本市における政策目標や、施策の方向性などを提示することにより、関係者との協調した取組を一層推進し、あらゆる側面から持続可能な交通の実現を目指すものとして策定された計画

港北区

バリアフリー基本構想

2023 (令和5) 年策定

バリアフリー法に基づき、港北区の新横浜駅・小机駅・大倉山駅の各駅を中心とした地区を対象に、高齢者、障害者、子育て中の方など誰もが円滑に移動し、駅や施設を利用できるよう、バリアフリー化を進めるための基本構想を策定

横浜市

住生活マスタープラン

2022 (令和4) 年策定

今後10年間の横浜市の住まいや住環境について目指すべき基本的な方向性を示す計画であり、多様な主体がこの方向性を共有し、横浜らしい豊かな住生活の基盤となる住まいや住環境づくりを連携して進めていくために策定

横浜市水と緑の基本計画

2016 (平成28) 年改定

市内にある河川や水路、樹林地、農地、公園といった水や緑を一体的にとらえ、横浜らしい水・緑環境をまもり、つくり、育てるために、本市で行う水・緑環境施策の方向性・考え方を示した総合的な計画

横浜市地球温暖化対策 実行計画

2023 (令和5) 年改定

市の新たな2030年度温室効果ガス排出削減目標の達成や2050年の脱炭素化の実現に向けた取組等を一層推進するため、実行計画を改定。目標達成に挑戦していくため、脱炭素社会の実現に向けた「2050年の横浜の将来像」、2030年度までの「基本方針」や「重点取組み」を設定

横浜市防災計画

2026 (令和8) 年策定

災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、市及び防災関係機関等が必要な体制を確立し、その責任及び果たすべき役割を明確にするとともに、災害に対する予防、応急、復旧・復興その他必要な対策の基本を定め、総合的かつ計画的に災害対策の整備及び推進を図るために策定

横浜市

下水道浸水対策プラン

2025 (令和7) 年改定

これまでの浸水対策の進捗状況や気候変動の影響を踏まえた雨に強い強靱なまちづくりを一層推進することを目的として、これからの下水道による浸水対策の目標や対策の進め方などを定めた下水道による浸水対策のマスタープラン

横浜市図書館ビジョン

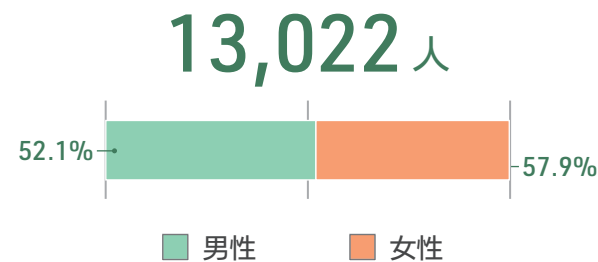
2024 (令和6) 年策定

10～20年後を見据え、中長期的な社会の変化を展望し、これからの図書館の「目指す姿」や「取組の方向性」を示した計画

これらの他の関連計画等も踏まえ、まちづくりに反映していきます。

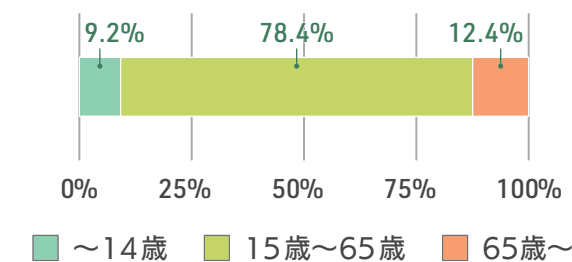
総人口

住民基本台帳（横浜市）
2025（令和7年）1月時点



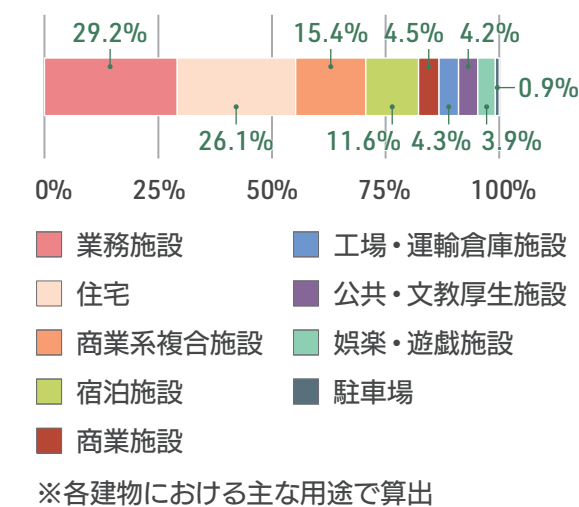
年齢3区分別人口割合

住民基本台帳（横浜市）
2025（令和7年）3月時点



建物用途別延べ床面積の割合

建築計画概要書（横浜市）
2023（令和5）年度時点



各施設数

建築計画概要書（横浜市）
2023（令和5）年度時点

宿泊施設 30施設
専門学校 5校

世帯数

住民基本台帳（横浜市）
2025（令和7年）1月時点

8,009世帯

世帯規模

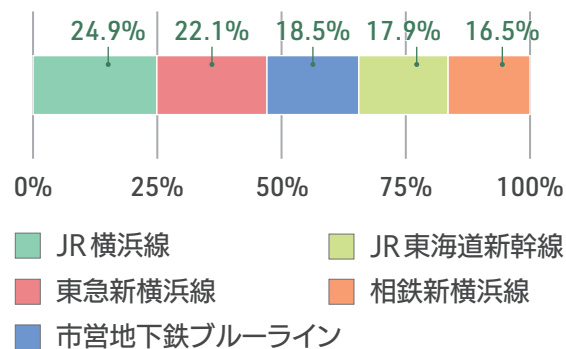
住民基本台帳（横浜市）
2025（令和7年）1月時点

1.63人/世帯

新横浜駅の乗車人員（1日平均）

横浜市統計書 第9章
2024（令和6）年度時点

199,849人/日



新横浜駅発着のバス路線

バス路線事業者ホームページ
2025（令和7年）9月時点

総路線数 17路線

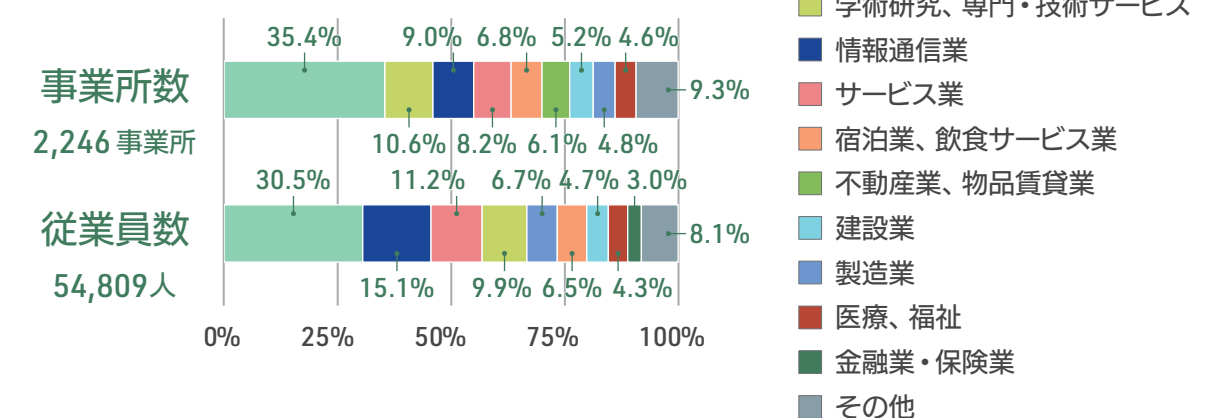
新横浜駅発着のバスの便数

バス路線事業者ホームページ
2025（令和7年）9月時点

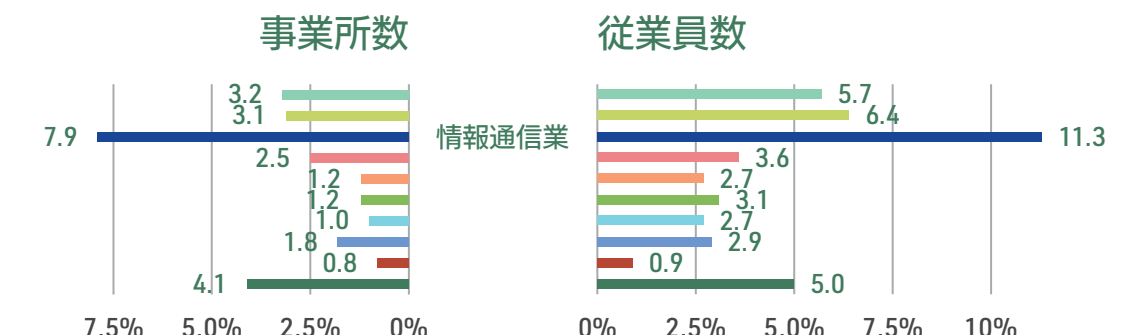
羽田空港行き 31便/日
成田空港行き 4便/日

産業別事業所数・従業員数

2021（令和3）年経済センサス活動調査



各産業での市全体に占める割合



新横浜都心の4地区



- 新横浜地区**
新横浜駅を中心にオフィスやホテル等が集積するとともに、横浜アリーナや公共施設があり、鳥山川沿いに住宅が立地する多様な都市機能を有する地区
- 城郷地区**
横浜国際総合競技場や労災病院、小机城址等を有し、鶴見川や鳥山川に囲まれ、豊かな歴史や自然が息づく、健康・福祉・スポーツが融合する地区
- 新羽地区**
高い基盤技術に支えられた内陸部のものづくりの拠点であり、職住が近接し自然とも共生する地区
- 羽沢地区**
農作物が実り、四季折々の自然の変化を感じる緑豊かな環境のなか、環状2号線や東海道貨物線が通り、大学にも近いなど、発展が期待される地区

- あ EV (電気自動車)** ガソリンエンジンを搭載せず、電気駆動のモーターで動く自動車
- ウェルビーイング** 幸福で肉体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた状態のこと
- オープンデータ** 国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用 (加工、編集、再配布等) できるよう公開されたデータ
- か カーボンニュートラル** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること
- 鴨場** 江戸時代から伝わる独特の技法を用いた鴨猟を行う場所
- 環境性能** 省エネルギー性能や居住性 (快適・働きやすさ / 健康・安心)、防災 (耐震性)、地域・まちづくり (緑・まちなみ) など、建築物の環境配慮の取組
- グリーンインフラ** 自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方

交通結節点 異なる交通手段 (場合によっては同じ交通手段) を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。移動の一連の動きの中のひとつの重要な要素であり、「つなぐ空間」と「たまる空間」としての役割を有する。

小机城 1400年代 (室町時代) の半ば頃、現在の横浜市港北区小机町に築城された城。現在は、本丸や二の丸、空堀や土塁等の遺構が残されたまま、「小机城址市民の森」として整備されている。

さ 再生可能エネルギー 永遠的に利用することができる非化石エネルギー源から得られるエネルギーのこと。化石燃料と違い、エネルギー源が絶えず再生、供給され、地球環境への負荷が少ない。

サーキュラーエコノミー 従来の3R の取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動

シェアモビリティ 移動手段である自動車や自転車などを共同使用すること、またはそのサービス、システムのこと

篠原城 平安時代末期、現在の横浜市港北区篠原町に築城された城。現在は、土塁や空堀等の遺構を残す形で保全されており、一般には公開されていない。

た 脱炭素社会 人の活動に伴って発生する温室効果ガスの排出量と吸収作用の保全及び強化により吸収される温室効果ガスの吸収量との間の均衡が保たれた社会

道路協力団体 道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む、公的に認められた民間団体のこと

都市機能 都市 (政治、経済、文化等の中心地で人の多いところ) としての機能。業務、商業、宿泊、教育、文化、観光、交流、娯楽、健康等

鳥山川 横浜市神奈川区羽沢町付近を源流とし、JR東海道新幹線と並行して流れる川。港北区新横浜で鶴見川と合流する。

な ナイトタイムエコノミー 18時から翌朝6時までの活動を指す。地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、夜ならではの消費活動や魅力創出をすることで、経済効果を高める取組

ネイチャーポジティブ 自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること

03-5 新横浜マップ

シンヨコ

SHINYOKO MAP



2026 (令和8) 年8月時点

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

新横浜駅北部地区まちづくり方針

2026(令和8)年10月

協力 新横浜町内会

新横浜自治会

アデニウム新横浜自治会

発行 横浜市都市整備局新横浜都心等事業推進課

〒231-0005 横浜市中区本町六丁目50番地の10

TEL:045-671-3858 FAX:045-664-3551

「新横浜駅北部地区まちづくり方針」の
データはこちらからご覧になれます。

